

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
26-36	中学校	技術・家庭	技術・家庭(家庭分野)	1-3
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
2 東書	家庭 724	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して		

1 編修の趣旨及び留意点

「未来を切りひらき、心豊かにたくましく生きる力」の育成

グローバル化、情報化、少子高齢化など、社会は激しく変化し、また多様化しています。家庭、学校、地域社会といった、生徒を取り巻く身近な環境も同様です。本書は、こうした変化に対応していく「未来を切りひらき、心豊かにたくましく生きる力」を育成することを目指しました。そのために、この力を支える「確かな学力」、すなわち、以下のような「育成したい学力」を掲げて編修しました。

【育成したい学力】

1. 家族・家庭、衣食住、消費生活などについて関心を持ち、意欲を持って生活をよりよくしようとする態度。また、協同（協働）の学びや、家族や地域の人々との生活などの学習を通して、生命の尊厳や人間関係の大切さ、1人の力だけではできない知の創造に気づき、自ら進んでよりよい人間関係を築こうとする態度。
2. 生活におけるさまざまな問題を自分のものとしてとらえ、習得した知識・技術を活用して、生活を工夫したり創造したりする能力。
3. 実践的・体験的な学習活動を通して習得する、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識・技術。
4. 問題解決的な学習や言語活動を通して習得する、科学的、論理的な思考力・判断力・表現力。
5. 家族、地域の人々などの生活についての学習を通して養う、よりよい家族関係を築く態度とともに、生活基盤となる衣食住等の学習を通して、生涯を見通す時間軸の視点から、期待を持って生活をよりよくしようとする能力と実践的な態度。
6. 身近な生活から地域、社会へと視野を広げる空間軸の視点から、自分や家族の生活をとらえ、社会の一員として他者と共生しながら持続可能な社会を構築する能力と実践的な態度。

2 編修の基本方針

教育基本法第2条に示された教育の目標を達成し、また、生徒に「編修の趣旨及び留意点」で挙げた6つの「育成したい学力」が身につくよう、5つの基本方針を掲げて編修に取り組みました。（「編修趣意書（学習指導要領との対照表）」参照）

1. 学びやすく、教えやすい教科書
2. 基礎的・基本的な知識・技術が身につく教科書
3. 自ら問題を見つけ、主体的に解決していく力が身につく教科書
4. 学習したことを生活に生かし、創意工夫して未来の生活を創造する力が身につく教科書
5. 現代社会の課題に関心を持ち、持続可能な社会の構築を目指す生徒を育てる教科書

3 対照表

教育基本法第2条第1号-第5号の趣旨を十分に反映すべく、本書を編修しました。

図書の内容・構成	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<p>★ 巻頭資料</p>	<p>①自分たちの生活と、自然環境や国際社会との関わりを考えさせる写真を示し、持続可能な社会を目指したこれからの学習が、より深められるように工夫しました。(第1号、第3号、第4号、第5号)。</p> <p>②家庭分野の学習と深く関わる、災害への備えや命を守ること、家族や地域の人とのつながりの大切さについて理解を深められるように工夫しました(第1号、第3号、第4号)。</p> <p>③「実習の安全」では、安全や衛生に配慮して、実践的・体験的な学習活動の進め方を示し、生活の中で生かしていくことの重要性を示しました(第3号)。</p>	<p>2-3 ページ</p> <p>4-5 ページ</p> <p>6-7 ページ</p>
<p>● どんな学習をするのだろう</p> <p>● どんな自分になりたいかな</p> <p>● 自分と家族との生活を見つめよう</p> <p>家庭分野のガイドダンス</p> 	<p>①学習内容と生活が密接に関連していることを実感できるような写真やイラストを多く示しました(第1号)。</p> <p>②自分が家族や地域の人など、多くの人に支えられていることに気づき、関わりを持って生活することの大切さが実感できるよう努めました(第1号)。</p> <p>③生活のあらゆる場面において、人々が性別や世代を超えて協力している場面や、環境に配慮している場面、地域の伝統文化に触れている場面を提示しました(第3号、第4号、第5号)。</p> <p>④家庭分野の学習は、生活の中から課題を見つけて解決するプロセスを繰り返すことで生活をよりよくするという、問題解決的な学習であることを分かりやすく示しました(第1号)。</p> <p>⑤家庭や地域での生活を振り返る学習では、キャラクターを用いた例を示すことでプライバシーに配慮しました(第2号)。</p>	<p>8-19 ページ</p> <p>8-19 ページ</p> <p>8-19 ページ</p> <p>14-15 ページ</p> <p>16-19 ページ</p>
<p>1編 ● 私たちの食生活</p> <p>1章 食生活と栄養</p>  <p>2章 献立作りと食品の選択</p>  <p>3章 調理と食文化</p> 	<p>①道徳心を培い健やかな身体を養うことができる学習内容などに、他教科や道徳との関連を示し、学習が深められるよう配慮しました(第1号)。</p> <p>②家庭や学校で、男女やグループで協力して学習したり、調理や食事をしたっている場面を写真やイラストで示しました(第3号)。</p> <p>③食事の役割について取り上げ、食生活を見直すとともに健康に良い食習慣について考えられるよう配慮しました(第1号、第4号)。</p> <p>④食文化を知って継承することを重視し、和食や行事食、地域の食文化、郷土料理などを取り上げました(第5号)。</p> <p>⑤「プロに聞く!」では、職業観、勤労観の育成を目指して、プロスポーツコーチ、栄養士、漬物職人からのメッセージを紹介しました(第1号、第2号、第5号)。</p> <p>⑥1日に必要な食品の3群と4群の目安量を実物大の写真で提示し、視覚的に食品の大きさや量が実感できるように工夫しました(第1号)。</p> <p>⑦食品の選択についての学習では、消費生活や環境にも配慮して選択できるようにD「消費生活と環境」との関連を図りました(第4号)。</p> <p>⑧調理実習では、主題材5例(組み合わせる料理の例10例)、参考例18例など題材を充実させ、美しく豊富な写真によって意欲を喚起するように工夫しました。また、主題材では手順例を横の流れで写真で示し、手順や食品の科学的変化が見て分かるようにしました(第1号、第2号)。</p> <p>⑨環境に配慮したエコクッキングを3例取り上げ、材料を無駄なく使う工夫例を示しました(第4号)。</p> <p>⑩食料自給率やフード・マイレージ、食品の廃棄量などの国際的な統計資料を用いて、よりよい食生活について幅広く学習できるように工夫しました。(第4号、第5号)</p>	<p>22、25、27 ページなど</p> <p>20-21、23 ページなど</p> <p>22-25 ページ</p> <p>41、57、85-89 ページ</p> <p>29、51、85 ページ</p> <p>36-37 ページ</p> <p>44-47 ページ</p> <p>60-79 ページなど</p> <p>80-81 ページ</p> <p>90-93 ページ</p>

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">2編 ● 私たちの衣生活と住生活</p> <p>1章 衣生活と自立</p>  <p>2章 住生活と自立</p>  <p>3章 生活を豊かにするために</p> 	<p>① 道徳心を培い健やかな身体を養うことができる学習内容などに、他教科や道徳との関連を示し、学習が深められるよう配慮しました（第1号）。</p> <p>② 家庭や学校で、男女やグループで協力して学習したり生活したりしている場面を、写真やイラストで示しました（第3号）。</p> <p>③ 衣生活・住生活の文化を知って継承することを重視し、和服や浴衣、地域の衣の文化、日本の住まいと住まい方などについて取り上げました（第5号）。</p> <p>④ 「プロに聞く！」では、備後絨生産者からの地域の衣文化の良さについて、クリーニング師からの洗濯の楽しさとポイント、い草・畳表生産者からの畳の生産のこだわりをメッセージとして紹介しました（第1号、第2号、第5号）。</p> <p>⑤ 衣服計画や、衣服の選択と購入の流れは、消費生活や環境にも配慮して学習できるようにD「消費生活と環境」との関連を図りました。また、衣服の生産から廃棄までの流れを消費生活と環境の循環型社会の流れと統一しました（第4号）。</p> <p>⑥ 災害に備えた住まい方の学習では、これまでの災害などの振り返りから、必要な対策を考えることで意識を高めるよう構成しました。また、災害への備えでは、家族や地域との関わりの視点を盛り込み、地域の実態や時間数に応じて選べる実習例を新設しました（第4号）。</p> <p>⑦ 布を用いた物の製作では、生徒の製作意欲を引き出せるような活用場面の写真を豊富に取り入れました。また、難易度の幅を広げて、小物から簡単な衣服まで題材を充実させました（第1号）。</p>	<p>108, 110-111, 138 ページなど</p> <p>106, 128-129 ページなど</p> <p>108-111, 132, 148-149 ページなど</p> <p>111, 121, 132 ページ</p> <p>112-115, 127, 245 ページ</p> <p>138-141 ページ</p> <p>150-151, 162-171 ページなど</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">3編 ● 私たちの成長と家族・地域</p> <p>1章 家族・家庭と地域</p>  <p>2章 幼児の生活と家族</p>  <p>3章 これからの私と家族</p> 	<p>① 道徳心を培い健やかな身体を養うことができる学習内容などに、他教科や道徳との関連を示し、学習が深められるよう配慮しました（第1号）。</p> <p>② 家庭や学校で、男女やグループで協力して学習したり生活したりしている場面を、写真やイラストで示しました（第3号）。</p> <p>③ 家族・家庭についての学習は、ガイダンスと関連を持たせ、相互に学習が深められるように工夫しました。更に、幼児の学習後に、これからの家族関係をよりよくする内容を位置付け、A「家族・家庭と子どもの成長」を系統的に学習できるようにストーリー性を持たせました（第1号、第2号、第3号）。</p> <p>④ 地域に伝わる文化を知って継承することを重視し、地域事例として写真で取り上げました（第2号、第5号）。</p> <p>⑤ 「プロに聞く！」では、保育士からの触れ合い体験を行うにあたってのメッセージを紹介し、職業観、勤労観の育成とともに、実習のスムーズな導入となるよう工夫しました（第1号、第2号、第3号）。</p> <p>⑥ 幼児の靴と、幼児と大人の箸を実物大の写真で提示し、幼児の体の大きさを視覚的に捉え、自分と比べるなどして、成長について実感できるように工夫しました（第1号、第4号）。</p> <p>⑦ 幼児との触れ合い体験は、地域や学校の実態に応じて選択できるように、施設への訪問、中学校への招待、写真での観察の3パターンを取り上げ、豊富な写真で幼児の様子を見て学べるように工夫しました（第1号、第2号）。</p>	<p>176, 178, 214, 219 ページなど</p> <p>174-177, 204-205 ページなど</p> <p>16-19, 174-181, 214-217 ページ</p> <p>180-181 ページ</p> <p>201 ページ</p> <p>186 ページ</p> <p>204-209 ページ</p>



▲205 ページ／施設への訪問の1場面

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<p>4編 ● 私たちの消費生活と環境</p> <p>1章 私たちの消費生活</p>  <p>2章 環境に配慮した消費生活</p> 	<p>① 道徳心を培うことができる学習内容などに、他教科や道徳との関連を示し、学習が深められるよう配慮しました（第1号）。</p> <p>② 編の導入では、個人の消費・使用・廃棄といった行動と、資源やエネルギー循環との関わりを示し、広い視点を持って学習に取り組むことができるようにしました（第4号）。</p> <p>③ 契約や消費者トラブル、消費者の権利と責任の学習では、現在あるいは将来直面するような場面を具体的に実習例や活動例として取り上げることで、実生活と結び付けて学習できるように工夫しました（第1号、第3号）。</p> <p>④ 「プロに聞く！」では、消費者の声が商品をよりよくしていることを、消費生活アドバイザーからのメッセージとして紹介しました（第2号）。</p> <p>⑤ 持続可能な社会を目指すことを中心に、自分や家族のエネルギー消費について考え、実習例などで実践的に学び、生活に生かせるように工夫しました（第1号、第3号、第4号）。</p> <p>⑥ 「江戸時代と循環型社会」では、我が国の伝統的な「物を大切に作る心」を紹介しました（第5号）。</p>	<p>226, 244 ページなど</p> <p>224-225 ページ</p> <p>227, 235, 239 ページなど</p> <p>238 ページ</p> <p>242-247 ページ</p> <p>250 ページ</p>
<p>● 生活の課題と実践の進め方</p> <p>● 課題の決め方</p>  <p>● まとめと発表の仕方</p> <p>● 実践例</p> 	<p>① 家庭や学校において、男女やグループで協力して学習している場面を写真やイラストで示しました（第3号）。</p> <p>② 生活の課題と実践の進め方は、ガイダンスで示した家庭分野の学習の進め方である問題解決的な学習の流れと統一を図りました（第1号）。</p> <p>③ 学習に関係する生活の中の課題例を充実させました（第1号）。</p> <p>④ 実践例では、まとめ方の例としてレポートやプレゼンテーションソフトウェア、ポスターや新聞など具体的な形式で示しました。実践例は、食生活の改善、食文化の追求、環境に配慮した衣生活、災害への備え、地域行事への積極的な参加など、多彩にそろえました（第1号、第2号、第3号、第4号、第5号）。</p>  <p>▲260-261 ページ／生活の課題と実践の実践例</p>	<p>251-261 ページ</p> <p>14-15, 252-253 ページ</p> <p>254 ページ</p> <p>256-261 ページ</p>
<p>★ 巻末資料</p> 	<p>① 「学んだことを社会に生かす」には、各内容で学習したことを生かして働いている人の姿を紹介しました。各編の「プロに聞く！」のまとめにもなっています（第2号）。</p> <p>② 「みんなが暮らしやすい社会を目指して」では、生活の中のユニバーサルデザインを紹介しました（第1号、第3号）。</p> <p>③ 「言葉のページ」では、家庭分野の学習と関わる独特な言い回しや名称を解説しました（第1号、第5号）。</p> <p>④ 「これからの生活を展望して」では、心豊かにともに学んできた仲間と、より豊かな生活を目指して、未来を切りひらき、心豊かにたくましく生きるための第一歩を踏み出す瞬間を表しました（第1号、第2号、第3号、第4号、第5号）。</p>	<p>266-267 ページ</p> <p>268-269 ページ</p> <p>270-271 ページ</p> <p>⑤-⑥</p>

4

上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

① **関連箇所へのリンク** 技術・家庭科の中で関連する学習内容、小学校での学習内容、他教科や道徳と関連する学習内容の該当箇所に、以下のようなマークを付して、学習が深められるように工夫しました。

-  **リンク** — 関連する内容が技術・家庭のほかのページにある。
-  **他教科** — 関連する内容がほかの教科などにある。
-  **小学校** — 小学校で学習した内容。

② **安全への配慮** 安全、衛生に関する学習内容に、以下のようなマークを付して、生徒が安全に楽しく実習や実践ができるように配慮しました。

-  **安全** — 安全に配慮するよう注意喚起している内容。
-  **衛生** — 衛生に配慮するよう注意喚起している内容。

③ **今日的な教育課題への対応** 今日的な課題に関する学習内容に、以下のようなマークを付して、生徒が多様な視点から学習できるように工夫しました。

-  **環境** — 環境に配慮した内容。
-  **消費者** — 消費者教育と関連する内容。
-  **伝統文化** — 伝統・文化に関連する内容。
-  **D** — コンピュータやインターネットを活用すると効果的な内容。
-  **防災** — 災害への備えに関連する内容。

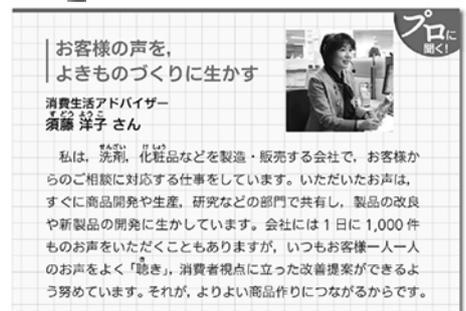
④ **発展的な学習** 学習指導要領には示されていませんが、必要に応じて幅広く学習できる発展的な内容には、以下のようなマークを付して、学習が深められるように工夫しました。

-  **発展** — 学習指導要領に示されていないが、必要に応じて学習できる発展的な内容。

⑤ **職業観・勤労観の育成** 巻末の「学んだことを社会に生かす」は、生徒の職業観・勤労観の育成を目指した「プロに聞く!」とリンクしています。



▲266-267 ページ/学んだことを社会に生かす



▲238 ページ/プロに聞く!

⑥ **社会的活動の促進** 巻末に「学んだことを発表しよう」(264-265 ページ)を設け、家庭分野で学んだ知識や技術の成果を発表している中学生の様子を取り上げました(学校教育法第21条1)。

⑦ **基礎技能の定着** 生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術が確実に定着するよう、「基礎技能ページ」(52-57, 120-125, 156-161 ページ)を設け、必要なときに常に振り返ることができるようにしました(学校教育法第21条4)。

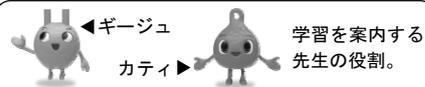
編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
26-36	中学校	技術・家庭	技術・家庭(家庭分野)	1-3
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
2 東書	家庭 724	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して		

1 編修上特に意を用いた点や特色

1. 学びやすく, 教えやすい教科書



生徒のやる気を引き出す資料の充実

対応マークー



- ① 1日に必要な3群と4群の食品の概量を、「手ばかり」「目ばかり」の手法で掲載しました。各食品の目安量に相当する実物大写真を示しています(36-37ページ)。
- ② 幼児の靴や箸も、実物大の写真で取り上げ、幼児が使う物を知るとともに、大きさを自分のものと比べるなどして成長が感じられるように工夫しました(186ページ)。
- ③ 本文を補足したり、応用したりする内容は「資料」などのコラムで記述しています(23, 29, 133, 218, 241ページ)。脚注には「ひとくちQ&A」を新設し、楽しみながらページをめくり、学習が進められるように工夫しました。

楽しく, 分かりやすい調理実習

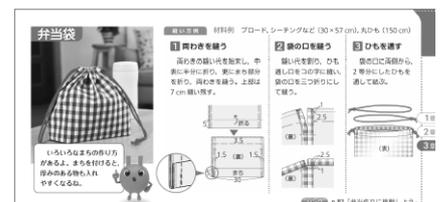
- ① 調理実習の実習例は、手順を6段階の横の流れで展開しました(60-63, 68-71, 76-77ページ)。写真で示すことで、調理による食品の科学的な変化が分かります。組み合わせる料理の例も同じ見開きに提示し、献立調理から単品調理まで実習時間に応じて活用できるようにしました。
- ② 主題材となる実習例に加えて、参考例を配列し、題材数の充実を図りました。各学校の実態に応じて選択し、また生活の中でも実践できるよう、配慮しました(60-65, 68-73, 76-79ページ)。肉、魚、野菜それぞれの調理の解説も見開きで充実させました(58-59, 66-67, 74-75ページ)。
- ③ エコクッキング、弁当作り、行事食、幼児のおやつを新設し、幅広く学習できるようにしました(80-83, 87, 198-199ページ)。



▲62-63ページ/実習例「ハンバーグ」

思わず作ってみたいくなる「布を用いた物」の製作実習

- ① 製作した物を活用している場面を写真で提示しています(162-171ページ)。
- ② 各学校の実態に応じて選択し、また生活の中でも実践できるよう、小物を取り上げるなど幅広い難易度で、題材数の充実を図りました(162-171ページ)。



▲171ページ/実習例「弁当袋」

検索性を強化

- ① 目次を巻頭に配置し、学習するページを検索しやすくしました(①-②)。
- ② 編, 章, 実習例, 基礎技能ページの爪を右ページの小口に設けました。教科書を側面から見ると、それぞれの学習のまとまりと、基礎技能や実習例のページの位置がすぐに分かり、繰り返し学習することが容易になっています。



幼児との関わり方を効果的に学ぶ、幼児との触れ合い体験実習

- ①各学校の実態に応じて扱えるように、施設への訪問、中学校への招待、写真での観察の3タイプを取り上げました(204-209ページ)。
- ②施設への訪問と中学校への招待は、体験前、体験中、体験後の流れを統一して示し、短い時間で学習が効果的に行えるよう工夫し、写真を中心に展開しました。
- ③幼児の1日の生活を、時間軸にそって写真で示し、触れ合い体験に行けない場合でも、写真で観察ができるようにしました。写真資料は、触れ合い体験の前後の学習でも活用することができます。



▲208-209ページ/写真での観察

2. 基礎的・基本的な知識・技術が身につく教科書

教科書の構成—多様な指導計画に対応

- ①年間指導計画の全国的な傾向や生徒の発達段階を考慮し、「ガイダンス」(A)「食生活」, C「衣生活・住生活」, A「家族・家庭と子どもの成長」, D「消費生活と環境」, 「生活の課題と実践」(選択)の順に構成しました。生徒にとって身近な内容を前半に配置しています。ガイダンスには、小学校の復習にもなる家族・家庭の内容を充実させてスムーズな導入を図り、更に4つの学習内容とのつながりを持たせる発問を設けたことで、ガイダンスの後、どの内容にも入りやすい流れを実現しました。
- ②各編は「編の導入」⇒「基本ページ」⇒「学習のまとめ」で構成しました。教科書の構成や使い方は、目次のすぐ次のページに見開きで取り上げ、分かりやすく示しました(③-1ページ)。基本ページは、一目で学習内容が見渡せ、見通しを持って学習できるように、見開きで構成しました。「目標」「始めの活動」「まとめの活動」を設け、1時間の授業展開を意識しました。
- ③さまざまな学校や地域、生徒の実態に応じた多様な指導計画に対応して教科書が使用できるように、豊富な資料を掲載し、さまざまな地域での取り組みの事例などを充実させました(85, 88-89, 93, 110, 133, 180-181ページなど)。



▲③-1ページ/この教科書で学ぶ皆さんへ

基礎技能の確実な習得を目指す

- ①実習や生活での実践などに必要な、必ず身につけさせたい基礎的な技能を「基礎技能ページ」としてまとめました(52-57, 120-125, 156-161ページ)。まとめて掲載したことで、いつでもページを開いて基礎的・基本的な技能を確認することができます。写真やイラストを用いて分かりやすい紙面にしました。
- ②基礎技能習得のための練習題材を設け、調理や製作をしながら、技能の習得ができるように工夫しました(57, 125, 161ページ)。



▲54ページ/基礎技能ページ



▲125ページ/練習題材

ほかの学習内容との関連

対応マーク

リンク

他教科

小学校

- ①技術・家庭のほかの学習内容と関連するページに「リンクマーク」を付け、より多角的に学べるようにしています(21ページなど)。更に、巻末には、未来を明るく創る生きる力を培うための、技術分野の内容を写真で紹介しています(④)。
- ②他教科などの学習状況を知ることで、より学習が深まる内容に「他教科マーク」を付け、教科横断的な学力の定着を図りました(25, 107, 205, 226ページなど)。特に道徳の時間との関連を充実させました(22, 108, 176, 269ページなど)。
- ③小学校で学習した内容には編の導入で学習内容を示すとともに、それぞれの関連箇所「小学校マーク」を付けました(21, 26, 104, 179, 226ページなど)。

3. 自ら問題を見つけ、主体的に解決していく力が身につく教科書

学習を見通す「家庭分野のガイダンス」

- ①小学校家庭科の学習を振り返るとともに、中学校の3年間の学習の見通しを持たせることをねらいとして、「家庭分野のガイダンス」を学習の冒頭に設けました(8-19ページ)。大きく分けて3つの内容で構成し、豊富な写真やイラストで学習意欲を高めます。
- ②全国的な傾向から、家庭や地域での生活の振り返りを時間軸、空間軸の視点を踏まえて充実させました(16-19ページ)。A「家族・家庭と子どもの成長」の学習とのつながりも持たせています。
- ③家庭分野の問題解決的な学習を重視し、家庭分野の学習の流れを見開きで示しました。生活に始まって生活に返す学習の流れが明確になっています(14-15ページ)。
- ④全ての学習の最後には、「家庭分野の学習を終えて」を新設し、家庭分野の学習の目標である「自立と共生」についての3年間の学習を確かなものができるよう工夫しています(262-263ページ)。

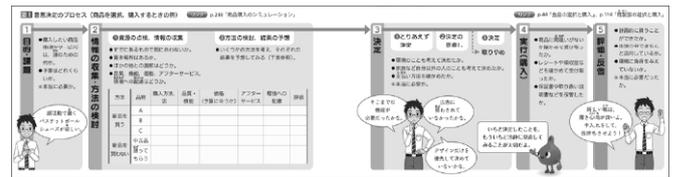


▲8-9ページ/家庭分野のガイダンス「自立と共生を目指そう」

意思決定のプロセス

食生活、衣生活などでの消費行動を例に、意思決定のプロセスを示しました。自信を持って物事を判断し、決定、実行できるように配慮しています。(44-45, 114-115, 230-231ページ)。

262-263ページ/家庭分野の学習を終えて▶



▲230-231ページ/意思決定のプロセス

言語活動の充実

- ①図表や概念図、ワークシート例やレポート例を充実させました。「生活の課題と実践」にある、まとめと発表の仕方(255ページ)や、実践例のまとめ方(256-261ページ)は各編の学習でも活用できます。
- ②自分の思いや気付きを伝え合う活動(28, 141, 247, 255ページ)やロールプレイング(216ページ)など、言語活動を取り入れた活動例や実習例を充実させました。
- ③家庭分野の学習と関わる独特な言い回しや名称について、「言葉のページ」(270-271ページ)で解説しました。

4. 学習したことを生活に生かし、創意工夫して未来の生活を創造する力が身につく教科書

工夫し創造する喜びを感じる「私のオリジナル」

調理実習や布を用いた物の製作実習の中で、題材別に工夫例として「私のオリジナル」を掲載しました(61, 163ページなど)。生徒の生活に合わせた工夫のヒントとなります。



▲166ページ/
私のオリジナル

家庭分野の学習を「生活に生かそう」

- ①基本ページの「まとめの活動」や、学習のまとめには「生活に生かそう」を設け、生徒が学習したことを自分自身の生活に生かせるように工夫しました(25, 95, 173, 213, 223, 229, 249ページなど)。
- ②「これからの生活を展望して」(⑤-⑥)は、未来の生活を見据えるような内容でまとめました。



「生活の課題と実践」で生活をより豊かに

生活の課題と実践では、自分や家族の課題を見つけ、その課題を解決するために計画、実践、評価、改善します。この学習の流れを分かりやすく示しました(252-253ページ)。課題の決め方やまとめと発表の仕方、実践例も充実しています(254-261ページ)。また、1-3編の学習のまとめに、課題発見のヒントとなる設問を新設しました(95ページなど)。

誰もが使いやすいユニバーサルデザイン

- ①書体はUD フォント（ユニバーサルデザイン書体）を使用しました。文字には欠けやかすれがないように配慮しています。
- ②色覚特性の研究者に校閲を依頼し、全ページにわたって配色およびデザインの検証を行いました。
- ③特別支援教育の視点から、横の流れで統一させた実習例など、読みやすく、見て分かるようにするために、あらゆる工夫をしました。

造本上の工夫

- ①地球環境や資源の保全に及ぼす影響を考慮して、再生紙と植物油インキを使用しています。
- ②製本には針金とじよりも環境に優しく開きやすい最新の接着剤 PUR を用いています。堅牢性も十分です。
- ③用紙は、食品の写真などが鮮やかに、人物の写真などがあたたかみを帯びるような色味で表現でき、かつ裏抜けしにくく軽い紙を使用しました。

2 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
家庭分野のガイダンス	A(1)ア	8-19 ページ	1-3
1 編 ● 私たちの食生活		20-99 ページ	
1 章 食生活と栄養	B(1)ア, イ	22-29 ページ	3-5
2 章 献立作りと食品の選択	B(2)ア, イ, ウ / D(1)イ	30-49 ページ	7-9
3 章 調理と食文化	B(3)ア, イ / D(2)ア	50-93 ページ	10-14
2 編 ● 私たちの衣生活と住生活		100-173 ページ	
1 章 衣生活と自立	C(1)ア, イ, ウ / D(1)イ, (2)ア	102-127 ページ	7-9
2 章 住生活と自立	C(2)ア, イ / D(2)ア	128-149 ページ	7-10
3 章 生活を豊かにするために	C(3)ア	150-171 ページ	6-14
3 編 ● 私たちの成長と家族・地域		174-223 ページ	
1 章 家族・家庭と地域	A(1)ア / A(2)ア	176-181 ページ	1-3
2 章 幼児の生活と家族	A(3)ア, イ, ウ / D(1)イ	182-213 ページ	8-13
3 章 これからの私と家族	A(2)イ	214-221 ページ	1-2
4 編 ● 私たちの消費生活と環境		224-250 ページ	
1 章 私たちの消費生活	D(1)ア, イ / D(2)ア	226-241 ページ	5-7
2 章 環境に配慮した消費生活	D(2)ア	242-247 ページ	2-4
選択 ● 生活の課題と実践		251-261 ページ	3-6
	B(3)ウ C(3)イ A(3)エ		

※配当授業時数は、各内容を扱う際の最小時数を下限、最大時数を上限として示しています。

※教科の授業時数 87.5 時間（175 時間を技術分野、家庭分野と均等に割り振ることを想定）と、配当授業時数の合計の差は、編の導入や学習のまとめ、資料などの読み物ページなどの時間にあてることを想定しています。

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-36	中学校	技術・家庭	技術・家庭(家庭分野)	1-3
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
2 東書	家庭 724	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項
82-83	弁当作りに挑戦しよう	2	内容 B(2)ウ…食品の品質を見分け、用途に応じて選択できること。 内容 B(3)ア…基礎的な日常食の調理ができること。また、安全と衛生に留意し、食品や調理用具等の適切な管理ができること。
111	世界の民族衣装	2	内容 C(1)ア…衣服と社会生活とのかかわりを理解し、目的に応じた着用や個性を生かす着用を工夫できること。
149	世界のいろいろな住まい	2	内容 C(2)ア…家族の住空間について考え、住居の基本的な機能について知ること。
218	ユニセフの活動	2	内容 A(2)ア…家庭や家族の基本的な機能と、家庭生活と地域とのかかわりについて理解すること。 内容 A(3)ア…幼児の発達と生活の特徴を知り、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解すること。
220-221	赤ちゃん一人間の育ちの始まり	2	内容 A(1)ア…自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて考えること。 内容 A(3)ア…幼児の発達と生活の特徴を知り、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解すること。
241	フェアトレード	2	内容 D(1)ア…自分や家族の消費生活に関心をもち、消費者の基本的な権利と責任について理解すること。 内容 D(1)イ…販売方法の特徴について知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入及び活用ができること。
268-269	みんなが暮らしやすい社会を目指して —ユニバーサルデザイン	2	内容 C(2)イ…家族の安全を考えた室内環境の整え方を知り、快適な住まい方を工夫できること。 内容 D(1)ア…自分や家族の消費生活に関心をもち、消費者の基本的な権利と責任について理解すること。

(発展的な学習内容の記述に係る総ページ数 10)

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容